

学校名	屋内運動場関係									
	建設年度	構造等	保有面積 m ²	建設年度判定		耐震診断年度	耐震力 (Is値)	耐震補強事業		備考
				S57以降	S56以前			実施年度	補強後Is値	
上野地区 小学校	上野東	S62	S	1,146	○					
	上野西	S40	R	1,406		●	H15	0.75	-	
	久米	S53	S	546		●	H16	0.35	H20	0.80
	長田	S58	S	532	○					
	新居	S51	S	532		●	H16	0.19	H23	0.81
	府中	S57	S	629	○					
	中瀬	S48	S	482		●	H16	1.26	-	
	友生	H17	R	1,027	○					
	依那古	S62	S	563	○					
	比自岐	S56	S	532		●	H18	0.16	H21	0.82
	神戸	S61	S	563	○					
	成和東	S60	S	563	○					
	成和西	S62	S	563	○					
	三訪	S56	S	532		●	H18	0.43	H21	0.77
伊賀地区	柘植	S53	R	1,428		●	H18	0.58	H21	0.87
	西柘植	S48	R	448		●	H18	0.23	H21	1.82
阿山	壬生野	S58	R	1,061	○					
	玉滝	S61	R	1,053	○					
	阿山	H9	R	1,477	○					
	大山田	H8	R	922	○					
	青山	H17	S	1,362	○					
島	島ヶ原	H16	R	729	○					
	島ヶ原	S63	R	1,161	○					
	崇広	S47	R	1,302		●	H15	0.39	H27	1.28
	緑ヶ丘	H23	R	1,560	○					
	城東	H21	R	1,519	○					
	上野南	H23	R	1,482	○					
	柘植	S57	R	1,200	○					
	靈峰	S60	R	1,036	○					
上野地区 中学校	阿山	S49	R	1,498		●	H13	1.21	-	
	大山田	S44	S	1,020		●	H19	0.51	H26	0.94
	青山	S58	R	1,535	○					
				31,409	21	11	11		11	8

・Is値の目安「平成18年度国土交通省告示による」

数値	内 容
0.3未満	地震に対して倒壊、又は崩壊する危険性が高い。
0.3以上0.6未満	地震に対して倒壊、又は崩壊する危険性がある。
0.6以上	地震に対して倒壊、又は崩壊する危険性が低い。
※なお文部科学省では、児童生徒の安全性や避難場所としての機能性を考慮し、Is値0.7超を目指すものとしています。	
※また伊賀市では、避難所としての使用を想定し、Is値0.75以上を目指しています。	

耐震にかかる施設(屋内運動場)の状況

区分	A 校数 (屋体数)	面積 m ²	C 診断 済数	C/B 実施 率 %
旧耐震基準 (S56年以前)	11	9,726	11	100.0%
新耐震基準 (S57年以降)	21	21,683	-	-
計	32	31,409	11	

○伊賀市立小中学校(園)屋内運動場の耐震化率

A 小中(園)校舎 全棟数		B 耐震化棟数				耐震化率 B/A	
		新耐震棟	補強不要棟	補強済棟	計		
32		21	3	8	32	100.0%	
内 訳	小学校	22	14	2	6	22	100.0%
	中学校	10	7	1	2	10	100.0%
	幼稚園	-	-	-	-	-	-